

全国協議会 ニュース

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階 TEL. (03)3356-8217 FAX. (03)3356-8637 発行責任者:品川 保弘 http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

新年のご挨拶

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 会長 海部 幸世



皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、骨髄バンクのドナー登録者数がようやく20万人を突破し、非血縁者間の骨髄移植が6000例を超えました。一方で、さい帯血移植は5年で2000例を実施するまでに成長しました。一時期、骨髄バンク不要説がささやかれたこともありましたが、移植成績の現状は、むしろその必要性をますます強く認識させることとなりました。

しかし、骨髄バンクには設立から13年が経過した今でもなお、相変わらず多くの課題が積み残されたままです。その解決のため大胆な改革が求められています。そして、この状況を打開するために、私たちの運動もまた大きく変わらなければなりません。

患者救済という理念の実現に向けて、今こそ全国のボランティアの力と英知を再結集し、骨髄バンク運動に新たな風を吹き込みましょう。



厚生労働省健康局疾病対策課 臓器移植対策室長 片岡 佳和

新年明けましておめでとうございます。骨髄バンク事業の推進につきまして、本年も、昨年同様、皆様

財団法人 骨髄移植推進財団 理事長 高久 史磨



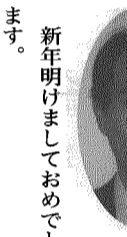
平成17年の新しい年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、骨髄バンク事業の今日の発展は、多年にわたりこの事業に深いご理解とご支援を賜りました数多くのボランティアの皆様方、関係者、関係団体、そして多くの国民の皆様への限りなくご理解ご尽力の賜物であり、ここに深く感謝と敬意を表するものであります。

おかげさまで昨年11月に、ドナー登録者現在数が20万人を超え、非血縁者間の骨髄移植実施数も累計で6000例に達することができました。また、昨年は年間ドナー登録者数が2万9千人弱、移植件数も約800例という過去最高の実績をあげることができました。

これもひとえに皆様のご支援の成果であり、心から厚く御礼申し上げます。私どもは決意を新たに、ドナー登録者目標30万人の達成に向けて普及啓発活動をより推進するとともに、コーディネートの迅速化に取り組み、ドナー安全対策や国際協力の一層の強化等に努めるなど、一人でも多くの患者さんを救命するために全力を尽くしてまいりたいと考えています。終わりに、引き続き暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。とともに、貴会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

日本赤十字社では、骨髄ドナー登録時のHLA検査を血清学的検査からDNA検査へ切り替えることとして、現在、今年度中の実施に向けた準備を取り進めております。DNA検査の導入により、検査精度の向上と検査の一層の効率化が図られるものと期待を寄せている次第です。本事業の一翼を担う日本赤十字社としては、ドナー登録を希望される方がより登録しやすい環境作りに努める等関係者の皆様方のご協力を得ながら、骨髄バンク事業の一層の充実発展のため、骨髄移植を必要とする患者さんのお役に立てるよう努力して参る所存であります。最後に、貴協議会のますますのご発展と皆様のご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



日本赤十字社 会長 鎌田 薫

新年明けましておめでとうございます。日本さい帯血バンクネットワークは、平成11年8月に当時の厚生省の財政支援を受け、地域のさい帯血バ

ンクが共同事業を行うために発足し、昨年8月に満5年を経過いたしました。発足当初は8つのバンクでスタートいたしました。その後、参加バンクも増え、現在は11のバンクの共同事業として、さい帯血の採取から調製、保存、公開、供給までの事業を行っています。

非血縁者間のさい帯血移植数も昨年11月には2000例を超え、今では骨髄バンクと共に、造血幹細胞移植医療を支える重要な柱となるに至っています。これからも、骨髄バンクとの連携をさらに強化し、一層の発展を目指していきたいと考えています。

さい帯血バンク事業に対するますますのご理解とご支援をお願いするとともに、新年が皆様にとりましてより良い年となりますように祈念いたします。

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 理事長 品川 保弘



新年にあたり、全国協議会理事会を代表し、一言ご挨拶申し上げます。昨年、この紙面に「山が動く」かも知れないと記しました。残念ながら、山が動いたようには見受けられませんでした。この一年を振り返ると、山が動くのを、ただひたすらじっと待っていた感があります。自ら山を動かそうという気迫が足りなかつたのかも知れません。今年は「山を動かす」を目標に掲げたいと思います。

昨年この紙面を振り返るまでもなく、厚生労働省がさらに「造血幹細胞移植の推進」をはかり、骨髄移植推進財団が「関係者の連携でさらに飛躍を」ともつと目ざし、日本赤十字社が「ドナー受入検査体制の強化を」真に実現すれば「山は動く」、いえ「山を動かす」ことは可能だと信じます。本年もよろしくお願いいたします。

学会で8年ぶりの口頭発表！

12月16、17日に岡山市で第27回造血幹細胞移植学会が開催され、大谷副会長(シンポジウム)、三田村(口頭発表)が参加しました。過去3年間、患者負担軽減を求めた活動を紹介しましたが、今回ドナーサイドからの視点でまとめ、9月から始めた「ドナーサポートダイヤル」と、感じ、医療関係者にアピールできる登録の在り方を見直す提案として日

12月4日夕方、ニッポン放送「板東英二のパンパストライク」のイブニングクエストコーナーに、山本・鈴木事務局員が出演しました。アナウンサーの質問に答える形で骨髄バンクの現状を伝えたと、山本事務局員がドナー経験談を話しました。ほんの10分間、首都圏のみでの放送でしたが、中身の濃いPRが出

来ました。リクエストコーナーでしたので、病院のベッドで聞いている患者さんが少しでも元気になってくれるようにとの願を込めて、光ゲンジの「勇気100%」をリクエストしました。最後にスタジオの板東英二さんと言葉交わし、ドキドキの生中継が終了しました。(鈴木)

追悼 服部純一先生逝去
全国協議会の初代顧問を務められた服部純一先生が12月4日逝去されました。85歳でした。服部先生は、金沢大学医学部教授時代の1975年、わが国で最初の骨髄移植を手がけられたパイオニアです。その後、骨髄移植術の保険適用に尽力され、その功あつて日本の骨髄移植が盛んに行われるようになりました。また、九州骨髄バンクの設立と運営に力を注ぎ、公的骨髄バンクに先駆けて民間バンクで非血縁者間移植に道も拓くなど、日本の造血幹細胞移植の文字通りの先駆者でした。心よりご冥福をお祈り致します。

第46回理事会報告

12月12日・全国協議会事務局 (10・11月会計報告) (協議事項) ●名義後援、承認案件 ●会費制度・準会員制度について ●協議会設立15周年事業について ●全国協議会財政危機対応 ●さい帯血バンクNW、第三者外部評価事業受注中止の件 ●合同公開フォーラムの進め方 ●第3回役員選挙について ●箱根駅伝での普及啓発活動について ●パチンコ捨て玉寄付全国展開について ●日赤アンケート集計と今後の進め方 ●保険適用問題の今後の進め方 ●白血病患者支援募金箱の進め方 ●CMコンクール主催の件 (報告事項) ●財団委員会報告 ●財団全国大会報告 ●ブロックセミナー開催報告 ●日本造血幹細胞移植学会報告 ●NMDP年次総会報告 ●シャディ事業協力依頼の件 ●年賀はがき寄付金配分申請提出の件 ●各種グッズ作成進捗状況 ●NW航空エアケアプログラムに関する件 ●服部純一先生逝去に際しての弔意表明対応について ●中村勘九郎改め勘三郎襲名を祝う会への出席依頼について ●厚生労働省研究 五研究班合同公開シンポジウムについて

●さい帯血バンクNW、第三者外部評価事業受注中止の件 ●合同公開フォーラムの進め方 ●第3回役員選挙について ●箱根駅伝での普及啓発活動について ●パチンコ捨て玉寄付全国展開について ●日赤アンケート集計と今後の進め方 ●保険適用問題の今後の進め方 ●白血病患者支援募金箱の進め方 ●CMコンクール主催の件 (報告事項) ●財団委員会報告 ●財団全国大会報告 ●ブロックセミナー開催報告 ●日本造血幹細胞移植学会報告 ●NMDP年次総会報告 ●シャディ事業協力依頼の件 ●年賀はがき寄付金配分申請提出の件 ●各種グッズ作成進捗状況 ●NW航空エアケアプログラムに関する件 ●服部純一先生逝去に際しての弔意表明対応について ●中村勘九郎改め勘三郎襲名を祝う会への出席依頼について ●厚生労働省研究 五研究班合同公開シンポジウムについて

●さい帯血バンクNW、第三者外部評価事業受注中止の件 ●合同公開フォーラムの進め方 ●第3回役員選挙について ●箱根駅伝での普及啓発活動について ●パチンコ捨て玉寄付全国展開について ●日赤アンケート集計と今後の進め方 ●保険適用問題の今後の進め方 ●白血病患者支援募金箱の進め方 ●CMコンクール主催の件 (報告事項) ●財団委員会報告 ●財団全国大会報告 ●ブロックセミナー開催報告 ●日本造血幹細胞移植学会報告 ●NMDP年次総会報告 ●シャディ事業協力依頼の件 ●年賀はがき寄付金配分申請提出の件 ●各種グッズ作成進捗状況 ●NW航空エアケアプログラムに関する件 ●服部純一先生逝去に際しての弔意表明対応について ●中村勘九郎改め勘三郎襲名を祝う会への出席依頼について ●厚生労働省研究 五研究班合同公開シンポジウムについて

●さい帯血バンクNW、第三者外部評価事業受注中止の件 ●合同公開フォーラムの進め方 ●第3回役員選挙について ●箱根駅伝での普及啓発活動について ●パチンコ捨て玉寄付全国展開について ●日赤アンケート集計と今後の進め方 ●保険適用問題の今後の進め方 ●白血病患者支援募金箱の進め方 ●CMコンクール主催の件 (報告事項) ●財団委員会報告 ●財団全国大会報告 ●ブロックセミナー開催報告 ●日本造血幹細胞移植学会報告 ●NMDP年次総会報告 ●シャディ事業協力依頼の件 ●年賀はがき寄付金配分申請提出の件 ●各種グッズ作成進捗状況 ●NW航空エアケアプログラムに関する件 ●服部純一先生逝去に際しての弔意表明対応について ●中村勘九郎改め勘三郎襲名を祝う会への出席依頼について ●厚生労働省研究 五研究班合同公開シンポジウムについて

●さい帯血バンクNW、第三者外部評価事業受注中止の件 ●合同公開フォーラムの進め方 ●第3回役員選挙について ●箱根駅伝での普及啓発活動について ●パチンコ捨て玉寄付全国展開について ●日赤アンケート集計と今後の進め方 ●保険適用問題の今後の進め方 ●白血病患者支援募金箱の進め方 ●CMコンクール主催の件 (報告事項) ●財団委員会報告 ●財団全国大会報告 ●ブロックセミナー開催報告 ●日本造血幹細胞移植学会報告 ●NMDP年次総会報告 ●シャディ事業協力依頼の件 ●年賀はがき寄付金配分申請提出の件 ●各種グッズ作成進捗状況 ●NW航空エアケアプログラムに関する件 ●服部純一先生逝去に際しての弔意表明対応について ●中村勘九郎改め勘三郎襲名を祝う会への出席依頼について ●厚生労働省研究 五研究班合同公開シンポジウムについて

●さい帯血バンクNW、第三者外部評価事業受注中止の件 ●合同公開フォーラムの進め方 ●第3回役員選挙について ●箱根駅伝での普及啓発活動について ●パチンコ捨て玉寄付全国展開について ●日赤アンケート集計と今後の進め方 ●保険適用問題の今後の進め方 ●白血病患者支援募金箱の進め方 ●CMコンクール主催の件 (報告事項) ●財団委員会報告 ●財団全国大会報告 ●ブロックセミナー開催報告 ●日本造血幹細胞移植学会報告 ●NMDP年次総会報告 ●シャディ事業協力依頼の件 ●年賀はがき寄付金配分申請提出の件 ●各種グッズ作成進捗状況 ●NW航空エアケアプログラムに関する件 ●服部純一先生逝去に際しての弔意表明対応について ●中村勘九郎改め勘三郎襲名を祝う会への出席依頼について ●厚生労働省研究 五研究班合同公開シンポジウムについて

最新医療情報 その⑨ テーラーメイド医療

テーラーメイド医療(オーダーメイド医療)とは、個人の遺伝子のタイプに応じて最適な薬を投与する治療法のことを言います。近年のヒトゲノム解析の進歩に伴い、遺伝子の個人差によって医薬品の効果や副作用が異なることが分かり、1990年代の中頃から欧米を中心に盛んになってきた医療に対する考え方です。実際には、

1. 遺伝子検査などから患者の体質を調べる。
2. 患者にとって最も効果があり、かつ、副作用が発現する可能性が最小となるように、薬の種類や、投与量、投与方法を決定する。という手順になります。

テーラー(洋服屋)がお客1人1人に合ったオーダーメイドの洋服を作ることから、こう呼ばれるようになりました。ひとつひとつの癌は、増殖速度、悪性度、抗癌剤感受性など、固有の性質を有しているとされており、同じタイプの癌であっても、患者さんによって、抗癌剤の奏効度、副作用の程度に差異を生じる場合が見受けられます。各癌の性質をあらかじめ見極め、抗癌剤に奏効し得るタイプの癌を選択できれば、抗癌剤の奏効率を高め、効果の薄い治療を避けることが出来るものと考えられています。そして、テーラーメイド医療に重要な酵素もすでにいくつか認められています。

詳しくは次号でお知らせします。

ブロックセミナー開催報告(近畿・関東甲信越)

◆活発な活動報告(近畿)

11月28日、大阪赤十字血液センター研修室にて近畿地区の5団体と全国協議会から木村副理事長、自主参加の鈴木事務局員も併せて合計11名が参加してブロックセミナーが開催されました。

ンバーが一同に介して意見交換ができ、ブロックセミナーの意義を改めて認識できました。(名川)

◆セミナー&県内3か所の登録会を開催(関東甲信越)

12月18日、山梨県甲府市のホテル紫雲苑で5団体12名が参加してセミナーを開催しました。



町のおギョリバーシティなど3会場、骨髄ドナー登録会を開催しました。地元ラジオ局がドナーや患者の生の声を交えた2時間の特別番組を放送するとともに、関東甲信越ブロックセミナーに参加した各地のボランティアの方々にはチラシの配布や説明員としてお手伝いをいただきました。骨髄バンクへの登録を呼びかけました。多くの皆様のご支援により36人の登録がありました。ありがとうございました。(山梨の会 河口)

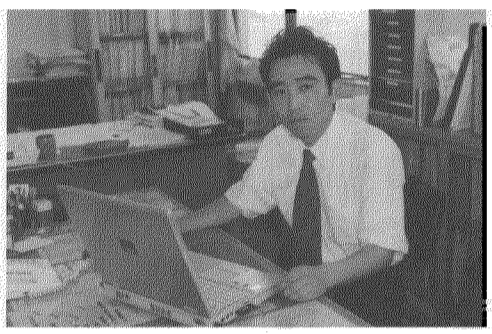
リレー紹介 ボランティアの仲間たち

大沼利勝さん(山形)の巻

当会の一大事業「ふれ愛講演会」は今年も成功裏に終了。講演会実行委員長の「大沼利勝」は、斯くて当会がなくてはならない人材に成長した。

大沼氏、曰く「ある日(去年の春)突然、社長と一緒に小野寺会長宅へ伺った。予備知識がない状態での話はチンプンカンプン。そして始めた骨髄バンクボランティア。いや、社長命令?でした(笑)。ところが今年、

いきなり講演会のリーダーに任命され、前社長が白血病で亡くなっているのに、同僚達も協力してくれたが、無事にやれるか心配だった」



各地のよりの写真をお寄せください

宮崎 いのちのメッセージ展

みやざき骨髄バンク推進連絡会の設立一周年の記念事業として、11月20日〜23日、都城大丸センターホールにて「いのちのメッセージ展」と題して、宮崎初となる「あやちゃんの贈り物」『MAMO心のメッセージ』「患者さんとドナーの手紙」のパネル展を開催いたしました。設置には市内の中学校の美術の先生にも参加いただき、素敵な会場が出来上がりました。また、都城農業高校の学生さんらが作成した骨髄バンクの壁新聞(文化祭で優秀賞に輝いた作品)も掲示させていただきました。期間中はたくさんの方々に来場・観覧していただき、いのちの大切さ、骨髄バンクの重要性を感じていただけたと思います。今後、骨髄バンクの推進に貢献を企画しました。開催にあたり

福島 ありかたつ...

今年10月、県内ドナー登録者数目標を越え、5000名となりました。ここ最近、ドナー登録会に追われ、ボランティア本来のPR活動が出来ずじまいでしたが、目標達成を節目とし、またボランティアの原点に戻るために、県内4ヶ所で「あやちゃんの贈り物&お手紙展」の開催を企画しました。開催にあたり

新潟 「まのあけみコンサート」

12月4日、設立15周年と県内登録6千人達成を記念して「命のアサガオ」の作曲者でシンガーソングライターまのあけみさんのコンサートが、命のアサガオ運動創始者、丹後まみこさんの自宅で開かれました。自宅の鉄工所事務所と、白血病で夭逝した息子を記念した父親手作りの空間「光柘の空」を開放し、手作りステージにピアノを搬入した、60席の会場でした。

埼玉 中学生からの嬉しいご協力

今年も百間中学校の生徒の皆さんの協力で多大なるご寄付をいただきました。もちろん、ただ、ご寄付をいただいた、というだけではありません。ポツポツと売ったり、手作りマ

では、福島造血幹細胞移植治療研究会様よりご支援頂きました。会場でも子ども連れの方から「私、小学校の時に母親と見に来ました、今自分が母親になってあらためて見に来て、涙が止まりません」との言葉を頂き、感動しました。いろんな形で受け継がれた生命がある事にありがたうと思うと同時に、ボランティアの本来の活動はここにあるんだと初心に戻れた展覧会でした。(斉藤)



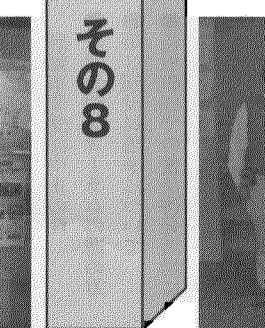
グネットの販売と、多岐に渡って、骨髄バンクへの募金のご協力をいただきました。販売ブースの後ろには、生徒さん自身で調べた「骨髄バンクとは」や「骨髄バンクの現況」をB紙(模造紙)に大きく書き、来場者の皆さんに骨髄バンクを知っていただくご協力もありました。

された。ダニーさんのピアノ伴奏に乗って心に響く歌声にすっかり魅せられて、讃辞が多数寄せられました。午前公演の時、地元局の超人気司会者が突然訪れ、許される時間まで聞き入っていました。打ち上げ会場の店のご息子は「バンクで移植し社会復帰直後。元気な姿にうれしさと倍加しました。まのさんは翌日、地震被災地でボランティア活動までされました。(阿部)

アサガオの種が贈られた後、まのさんの子育ての中から生まれた歌が、明るい語りと共に次々と披露されました。「命のアサガオ」に続き、丹後ご夫妻作詞による新曲「一粒の種」も紹介

今年も百間中学校の生徒の皆さんの協力で多大なるご寄付をいただきました。もちろん、ただ、ご寄付をいただいた、というだけではありません。ポツポツと売ったり、手作りマ

真等々にぎやかに骨髄バンク支援のPRをしてきています。店内には、ユニークな募金箱が設置されており、募金をしてボタンを押すとダンシングジェームズ・ブラウンが腰をフリフリ歌を歌ってくれます。



心からのご寄付に感謝申し上げます

11月20日~12月19日

株式会社コーポレーション	現金	30,000円
切明 蹊	現金	5,000円
飯島孝枝	現金	1,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
武田神楽	現金	4,132円
久喜市立久喜南中学校PTA	現金	9,000円
宮代町立百間中学校PTA	現金	20,000円
宮代町立百間中学校生徒会	現金	30,484円
宮代町立百間中学校生徒会	現金	5,502円
加須市地域で子どもを育てる会	現金	30,000円
平井典子	切手	1,600円
匿名	現金	9,241円
関西市民大学講座	現金	70,000円
村上晴美	現金	670円
浅井みさ子	現金	1,000円
埼玉骨髄バンク推進連絡会 (ピアノ三重奏)	現金	120,000円
湯原孝行	現金	3,000円
築井陽香	現金	5,831円
白相浩二	現金	10,000円
堀江英二	現金	5,000円
匿名	現金	1,422円
株式会社カタタネ	現金	771,990円
豊島区明るい社会づくりの会	現金	100,000円
羽生市立南中学校	現金	21,002円
若木 換	現金	3,315円
●佐藤さち子患者支援基金		
飯島孝枝	現金	1,000円
ヤングライオンズ会	現金	36,843円
切明 蹊	現金	5,000円
匿名	現金	10,000円
牧野礼男	現金	3,000円
●白血病患者支援基金・募金箱		
サークルK楠村店	現金	5,901円
グリーン薬局	現金	3,020円
●あやちゃん基金		
白井信次	現金	10,000円

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

新潟市の空港近くに集合商店街が出来ました。その中にひときり大きなお店があり、それがケーズデンキ本社です。正面には7m余りの大きなショーウィンドウ。

そのほば全面を使ってひよっこりひよっく島の人形や、ドカベン、キティちゃん、そしていのちのあさがおのぼり、写

